

明石工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	情報基礎 I
科目基礎情報					
科目番号	4115	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科	対象学年	1		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	授業中にプリントを配布する。ネットを利用して情報を収集する。				
担当教員	平石 年弘				
到達目標					
学内におけるインターネット利用方法を理解し、情報社会における様々なルールを考えながら行動できる。 プレゼンテーションソフト、動画作成ソフトを使って自己紹介動画を作成できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表が適切にできる。	プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができる。	プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができない。		
評価項目2	情報社会をより良くするために何をしたらよいか、周りの人と話し合える。情報社会ではどのような問題が起きるのか、起きたときの対処方法について自分の意見を話すことができる。	情報社会をより良くするために何をしたらよいか行動できる。情報社会ではどのような問題が起きるのか、起きたときの対処について行動できる。	情報社会をより良くするために何をしたらよいか理解できない。情報社会ではどのような問題が起きるのか、起きたときの対処について理解できない。		
評価項目3	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを適切に把握している。	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握していない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	現代社会においてパソコンを使用しての文書作成や表計算、インターネットや電子メールを使う能力は必要不可欠である。本授業ではパソコンの基礎知識およびプレゼンテーション用ソフト操作を学習する。また情報を処理・活用する上で重要な情報倫理・セキュリティも学ぶ。メールの使い方、プレゼンテーションソフトの使い方を習得する。				
授業の進め方・方法	授業の進め方と授業内容・方法: 配布プリントを用いた解説および実習を主とする。適宜レポートを課す。				
注意点	パスワード管理、SNSの利用上の注意 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
				☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	学内におけるネット利用方法。情報社会での問題点と対応 (学科共通)	学内におけるネット利用方法を理解し、情報社会での問題点と対応ができる。	
		2週	パソコンの仕組み、BIOS、OS、ソフトの構成、パソコンの起動、ユーザー名、パスワード、ログイン、シャットダウン	コンピュータのハードウェア、ソフトウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	
		3週	電子メールの受信・閲覧・作成。送信、添付ファイルの使い方	個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	
		4週	自己紹介動画の作製方法の説明と作成	パワーポイントやムービーメーカーなどのソフトを使って自己紹介動画を作る方法について理解する。	
		5週	自己紹介動画の作製	各種ソフトを使って動画が編集できる。目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	
		6週	自己紹介動画の作製	各種ソフトを使って動画が編集できる。目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	
		7週	自己紹介動画の作製	各種ソフトを使って動画が編集できる。目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	
		8週	クラスメイトの自己紹介動画の鑑賞	クラスメイトの自己紹介動画を鑑賞し、優れた表現方法を理解する。	
	2ndQ	9週	Excelを使った統計処理演習問題	エクセルを使って、簡単な統計処理ができる。	
		10週	Excelを使った統計処理演習問題	エクセルを使って、簡単な統計処理ができる。	
		11週	Excelを使った統計処理演習問題	エクセルを使って、簡単な統計処理ができる。	
		12週	セキュリティ問題	個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	
		13週	ネットワークの基本	ネットワークの基本を理解し、情報社会での問題点と対応ができる。	
		14週	過去問題の演習 1	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	
		15週	過去問題の演習 2	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	
		16週	前期末試験	情報基礎での学習内容を理解している。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	2	前1
				高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	2	前1
				知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	2	前1
				知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	2	前3
		情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	2	前6,前8,前9
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	2	前2
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	2	前2
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	2	前3
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在していることを知っている。	1	前3
				与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。	1	前3
				任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実装できる。	1	前3
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3	前1
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3	前2
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	前2,前7
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	前1
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
評価割合						
	自己紹介動画	試験				合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	50	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0